



北小魂



【めざす学校像】5つの気がみなぎる学校
 ～魅せる北小魂！PROUD2019～新しい時代を切り拓く先 駆 者となれ

プロセスを重視する「ONE TEAM」

教頭 五十嵐 正

学校では、年度のまとめの学期になりました。1年間のまとめをしつつ、日々の授業や行事をとおして、引き続き一人一人を伸ばしていきたいと思っております。今回は、7・10月号に続き、教頭が担当します。

さて、昨年の流行語大賞に「ONE TEAM (ワン・チーム)」が選ばれました。ラグビーワールドカップでの日本代表チームの活躍により脚光を浴びた言葉です。日本代表選手たちの姿は、大会が始まってから決勝ラウンド進出をかけた、最後まであきらめないことの大切さを教えてくれました。

ラグビーに関しては、「ノーサイド」・「One for all, All for one (ワン・フォー・オール、オール・フォー・ワン)」など、対戦相手への尊敬の心を表す言葉やチームとしての考え方を表す言葉が有名です。ワールドカップ観戦を通して、ラグビーについて調べてみると「ラグビー憲章」というものを見つけました。そこには5つの大切にすべき価値があげられています。

品位 (INTEGRITY)

品位とはゲームの構造の核を成すものであり、誠実さとフェアプレーによって生み出される。

情熱 (PASSION)

ラグビーに関わる人々は、ゲームに対する情熱的な熱意をもっている。ラグビーは、興奮を呼び、愛着を誘い、グローバルなラグビーファミリーへの帰属意識を生む。

結束 (SOLIDARITY)

ラグビーは、生涯続く友情、絆、チームワーク、そして、文化的、地理的、政治的、宗教的な相違を超えた忠誠心へとつながる一体的な精神をもたらす。

規律 (DISCIPLINE)

規律とはフィールドの外内においてゲームに不可欠なものであり、競技規則、競技に関する規定、そして、ラグビーのコアバリュー（大切にすべき価値）を順守することによって表現される。

尊重 (RESPECT)

チームメイト、相手、オフィシャル、そして、ゲームに参加する人を尊重することは、最も重要である。

(World RugbyHP : <https://laws.worldrugby.org/?charter=all&language=JAより>)

ラグビーは、激しいスポーツであるからこそ、こうした価値観に関わる人全てに共有されていることが重要になるのだと思います。

この5つの価値は、学校づくりにも繋がるものが多いと考えました。子供達に情熱をもって、誠実に接すること。学級や学年として、保護者や地域の方々と一緒に結束していくこと。学習や生活の規律を守ること。学校に関わる全ての人々が互いに尊重し合うこと。そのことを基盤に、結果だけでなく、そこに至るまでのプロセスを重視した教育活動に取り組んでいくことが達成できたとき、地域に誇れる学校や児童になるのではないかと感じました。

今後も目標を共有・連携しながら、プロセスを重視した「ONE TEAM」で「子供たちのよりよい成長のために」、皆様にも相変わらぬ御支援、御協力をよろしくお願い致します。



日	曜日	予定
1	土	
2	日	
3	月	6年西中学校説明会
4	火	全校朝会, 5年茶道体験
5	水	学校運営協議会
6	木	6年社会科見学, 5年琴体験
7	金	委員会
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	建国記念の日
12	水	
13	木	学校保健委員会, 給食試食会
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	教育相談日, 5年琴体験
20	木	3年クラブ体験
21	金	
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	児童集会 (クラブ発表)
26	水	新通学班編成, 一斉下校
27	木	クラブ
28	金	1~5学年年末PTA
29	土	第3回資源回収

- 3/6 (金) 6年生を送る会
- 3/11 (水) 6年感謝の会
- 3/24 (火) 卒業証書授与式
- 3/26 (木) 修了式



授業の様子



研究会の様子

天災は忘れた頃にやってくる～避難訓練～



1月16日(木)に避難訓練が行われました。今回は子供たちには何時に行うか予告をしないで実施しました。業間休みで多くの子供たちが校庭で長縄の練習をしている中、訓練が始まりました。どの子ども真剣に取り組んでいました。今回の訓練で出てきた課題もありましたので、今後に生かしていきたいと思っております。上記にあるように天災は忘れた頃にやってきます。近い将来、必ず来るであろう大きな地震に備え、御家庭でもお子さんと災害時の行動について話し合ってください。



校庭の中央に避難



防災頭巾をかぶって避難



消防署に方の話

祝！審査員特別賞 ～言葉で伝えたプレゼン～

1月18日(土)に第3回全国プレゼンテーションコンクールin羽生が産業文化ホール(大ホール)で行われました。今年のテーマは「世界へメッセージ」でした。本校は6年生から実行委員を募り、実行委員を中心に創り上げてきました。当日は代表児童5名がステージの上で堂々と「争いのない世界へ～今私たちにできること～」をテーマに言葉で伝えることの大切さを力強く訴えました。その結果、見事「審査員特別賞」を受賞することができました。



ステージ発表の様子



賞状を持ってにっこり

教師も子供も学び続ける～校内授業研究会～

1月22日(木)に校内授業研究会(5年1組「国語」)を行いました。これは、簡単に説明すると教師の勉強会です。研究授業をみて、その授業のよかった点や課題点を教師同士が話し合い、学び合います。そうして、よりよい指導を学んでいきます。よい授業ができるようこれからも職員一同研鑽を積んでいきます。